「愛知県その道の達人」派遣事業　実施報告書

<table>
<tr><td>達　人　名</td><td colspan="2">坂口　真悟　先生（　人工哺育の達人　）</td><td>所属</td><td>日本モンキーセンター</td></tr>
<tr><td>実　施　校</td><td colspan="4">尾張旭市立三郷小学校</td></tr>
<tr><td>実　施　日</td><td colspan="4">平成２１年１２月９日（水曜日）</td></tr>
<tr><td>実施学年・学級</td><td colspan="4">５年１・２・３組（８６人）</td></tr>
<tr><td>教 科 等 名</td><td>道徳</td><td>単元・題材名</td><td colspan="2">ハンディキャップを乗り越えたチンパンジーの「シノ」の命を通して</td></tr>
<tr><td>授業の目標</td><td colspan="4">達人の話を聞く中で、ハンディキャップを乗り越えたシノが群れの中に戻っていく過程を知り、困難に耐え力強く生き抜こうとする気持ちを高める。</td></tr>
<tr><td>授業の実際</td><td colspan="4">１　達人の紹介を聞く。（教師）
２　チンパンジーについて知る。（教師）
３　紙芝居を見る。（達人、教師）
４　ビデオを見て、「シノ」の生い立ち、障害を知る。（達人）
５　群れに戻す努力を知る。（達人、教師）
６　達人に質問する。（達人、教師）
・　シノはいくつで死んだか。他のチンパンジーの年は。
・　なぜ、チンパンジーは水が嫌いなのか。
７　困難に耐え力強く生き抜いた「シノ」の死を考える。（教師）
○　いじめられても群れに戻したことによって、「シノ」の死を早めたのではないか。
○　坂口さん達の努力が本当に「シノ」のためになったのか。
・　チンパンジーらしさを身につけた「シノ」は、群れにもどしてもらってよかったと思っていると思う。
・　群れに戻さなかったら、もっと早く死んだのではないか。
・　群れに戻すことはよいが、血が出るまではよくないので、戻さない方がよかった。
 </td></tr>
<tr><td>児童生徒の感想</td><td colspan="4">・今日の話でチンパンジーが近くにいるような気がした。シノは何をされてもあきらめないので、見習わなくてはと思った。人間みたいだった。
・いろいろな人の努力があっていろいろなことが成り立っているということや大切な人を思う気持ちというのがあってのことだと思った。
・あいさつ、あきらめないこと、そんな大切なことを知った。
・手足が不自由だったり、たたかれたりいじめられたりしても一生懸命なシノに、がんばることはすごいことだと思った。
・人といっしょではなく、同じ仲間と生活した方がシノのためになったと思う。
・サルだって心があるはず。シノに友達ができてよかったのでは。群れに入れなかったら、早死にしたのではないか。
・一人ぼっちでひまな人生で終わるより友達を作って幸せに死んでいたほうがいいから、群れに戻してよかった。
・世の中にはいろいろなサルがいることが分かった。木に登るのも大変なのに、がんばっているサルに感動した。もし、ぼくだったら、みんなに馬鹿にされ、一人ぼっちだったと思う。坂口さん、つらいかもしれないけれどがんばってください。ぼくも坂口さんのような人になりたい。
・人間に育てられたら苦労をせず幸せだったと思う。でも、群れに戻って苦労をしたから、苦労をしない幸せより何倍も、何十倍も幸せだったと思う。</td></tr>
<tr><td>教師の感想</td><td colspan="4">多くの児童は、チンパンジーを動物園で見たことがあるので、興味を持って聞くことができた。福祉を学んできた２学期だったので、チンパンジーも人間も同じような試練があり、乗り越えた時のすばらしい体験に大きな感動を覚えた。坂口さんの話し方は、動物が好き、仕事が好きというのが満面に出ていたので、最後まで感動の時間となった。「いじめられても群れに戻したことによって、『シノ』の死を早めたのではないか。」という問いかけに対して、一人ひとり違う、簡単に答えの出ない、これまでに出会ったことのない難しい問題を真剣に受け止め考えようとした子が多くおり、授業のねらいを達成するには最高のものであった。</td></tr>
</table>